

2020年3月13日



## アセアン株式市場の動向と今後の見通し ならびに基準価額の変動に関するお知らせ

### 《アセアン株式市場および外国為替市場の動向》

3月12日のアセアン株式市場は大幅に下落しました。

WHO(世界保健機関)が新型コロナウイルスの感染拡大がパンデミック(世界的大流行)であると宣言するとともに、トランプ大統領が感染を抑制するために英国を除く欧州から米国への入国を30日間禁止する措置を発表したことから、世界景気の先行き懸念が更に強まったことで世界の株式市場が全面安の展開となりました。そのような流れを受けてアセアン株式市場も大幅な下落を余儀なくされ、タイやインドネシアの証券取引所などが値幅制限によって一時取引が停止するなど大荒れの展開となりました。13日の外国為替市場も、新型コロナウイルスの感染拡大懸念が強まる中で、当ファンドが投資するアセアン通貨はインドネシアを除いて対円で下落しました。

アセアン5カ国 株価指数

	3月12日	前日比	騰落率
ジャカルタ総合	4,895.75	▲258.36	▲5.01%
タイSET	1,114.91	▲134.98	▲10.80%
マレーシアKLCI	1,419.43	▲24.40	▲1.69%
シンガポールST	2,678.64	▲105.08	▲3.77%
フィリピン総合	5,736.27	▲616.99	▲9.71%

※基準価額への反映を考慮して前営業日の指数を表示しています。

アセアン5カ国 対円為替レート

	3月13日	前日比	騰落率
インドネシアルピア	0.0073	0.0000	0.00%
タイバーツ	3.28	▲0.04	▲1.20%
マレーシアリングgit	24.56	▲0.07	▲0.28%
シンガポールドル	74.48	▲0.48	▲0.64%
フィリピンペソ	2.06	▲0.01	▲0.48%

※対顧客電信売相場仲値(TTM)を表示しています。

### 《基準価額の変動状況》

3月12日のアセアン株式市場の大幅な下落と3月13日のアセアン各国通貨の下落に伴い、以下のファンドが前日比で5%超の下落となっております。

ファンド名	基準価額	前日比	騰落率
朝日ライフ・MSCI・グローイング・アセアン株式ファンド	6,535	▲484円	▲6.90%

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント（以下、当社といいます）が、情報提供を目的として作成したものであり、当該商品の勧誘を目的としたものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。■当該ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します（外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。）ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当該ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。

## 《今後の見通し》

米国や欧州で感染者数が増加するなど、中国以外の国・地域における新型コロナウイルスの感染拡大が収束するには依然として時間を要すると思われることから、世界景気と企業業績に対する先行き不透明感は払拭されず、当面アセアン株式市場もボラタイルな動きが続くと見込んでいます。但し、①FRB(米連邦準備理事会)が3日に緊急利下げを実施するとともに今月17～18日に開催されるFOMC(米連邦公開市場委員会)で更なる利下げが期待されるなど、主要国の中央銀行が株価と投資家センチメントを下支えする姿勢を示していること、②主要国政府が景気下支えのための財政政策を導入する意向を示していること、③アセアン各国についても景気刺激策や利下げの発表が相次いでいること、④株式市場のバリュエーションについても、アセアン株式市場のPERは12.1倍(MSCI AC ASEAN 指数ベース、今後12カ月予想)と、欧州債務問題や米国の連邦債務上限引上げに関する混乱などによって世界景気への不透明感が強かった2011年以来の水準まで低下していることなどから、今後は徐々に落ち着きを取り戻すと予想しています。

今後も短期的には株式・為替市場において変動性が高まるリスクに一定の留意はすべきと考えますが、アセアン市場が中長期的に高水準な経済成長と、それに伴う企業業績の成長が期待できる市場であるとの弊社の見方に変更はありません。

以上

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、当社といいます)が、情報提供を目的として作成したものであり、当該商品の勧誘を目的としたものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。■当該ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当該ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。

## ■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元金が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくご覧ください。

## ■投資信託に係る手数料等について

[ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。]

■申込時に直接ご負担いただく費用 …… 申込手数料 上限 5.5%(税抜 5.0%)

■換金時に直接ご負担いただく費用 …… 信託財産留保額 上限 0.3%

■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

…… 信託報酬 上限 2.035%(税抜 1.85%)

■その他の費用 …… 上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

### 《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率等につきましては、朝日ライフ アセットマネジメントが運用するすべての投資信託が徴収するそれぞれの費用のうち、最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者関東財務局長(金商)第 301 号

加入協会：一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

2003195

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント（以下、当社といいます）が、情報提供を目的として作成したものであり、当該商品の勧誘を目的としたものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。■当該ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します（外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。）ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当該ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。